

	<p>～大泉地域の昔なつかしい風景を再現～ <b>「橋戸田んぼ」で小学生が稲刈りを体験！</b></p>
と き	10月11日(水)、12日(木)
と ころ	区立大泉橋戸公園（大泉町2-9-34）
<p>11日、12日に、区立大泉橋戸公園内の水田で、近隣の小学校3校（大泉第一小学校、大泉北小学校、橋戸小学校）の5年生約180名が、6月に自分たちで田植えを行った稲の収穫を体験した。</p> <p>児童らは、説明を受けた後、鎌を手にして、稲刈りを体験。「稲を刈るのは固くて難しかったけれど、鎌の使い方に慣れて、最後はできるようになった。」などと話した。</p> <p>6月の田植え以降、毎日、田んぼの管理を行ってきた橋戸水田自主管理会の田中 好雄 会長は、「今年は日照が続き、乾燥による水の干上がりなどのため、水田の管理が大変だった。無事に収穫を迎えることができほっとしている。子どもたちにも喜んでもらえて嬉しい。」と話した。</p> <p>収穫した稲は、脱穀および精米した上で、今後、各小学校での調理実習などで味わう予定。</p>	



▲稲刈りをする児童

**【橋戸田んぼについて】**

区立大泉橋戸公園の「田んぼ」は、園内に残る弁天池の湧水を活用し、かつて白子川流域で行われていた田んぼを復元整備したもの。水田面積は230㎡で、6枚の田んぼに分かれており、管理運営は、地域団体の「橋戸水田自主管理会」（会長：田中 好雄）が行っている。

平成24年度から、近隣の3校（大泉第一小学校、大泉北小学校、橋戸小学校）の児童が、毎年、稲作体験を行っている。



▲6月に実施した田植え体験の様子

**【橋戸水田自主管理会とは】**

平成24年に結成された組織で、大泉町近隣の小学校の児童が米作りの体験を通じて、学校間の交流や地域コミュニティの醸成に寄与することを目的とし、田植え・稲刈り体験指導をはじめ、除草や水量調整といった水田の全般的な維持管理を行っている。

**【問合せ】練馬区 都市農業課 農業振興係 電話 03-5984-1403**